

令和5年度第3回「奈良市地域福祉推進会議」議事要録			
開催日時	令和6年1月31日(水)午後2時から午後4時00分まで		
開催場所	奈良市総合福祉センター集会室		
出席者	委員	山下委員長、今西副委員長、作間委員、池口委員、西村委員、森山委員、安井委員、木村委員、田中委員、松村委員、若野委員、安藤委員、中川委員【計13人出席】 (植畑委員、塩山委員、国分委員、福本委員欠席)	
	事務局	【福祉部】福祉部長、福祉部次長、福祉部参事、障がい福祉課長 他 奈良市社会福祉協議会 3名	
開催形態	公開(傍聴人 1人)	担当課	福祉部障がい福祉課
議題 又は 案件	(1) 奈良市総合福祉センターの見学 (2) 奈良市総合福祉センター見学を受けての意見交換		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
(1)奈良市総合福祉センターの見学 指定管理者である奈良市社会福祉協議会の職員の案内のもと、奈良市総合福祉センターを見学			
(2)奈良市総合福祉センター見学を受けての意見交換 【委員からの主な意見】 奈良市の障害者施策がこの水準までレベルが高いと敬意を払うところだが、この建物は相当痛みがきている。 拠点型の施設ということを痛感したが、この拠点がどれぐらい使えるか、ランチの機能がどう設計されているか。重度の方、中度・軽度の方がおられるが、使い分け、ネットワークがどうなっているか次は知りたい。			
一概には言えないが、このような施設は必ず必要だと思う。 東西南北の福祉センターに機能を移す案は無理で莫大な費用がかかると実感した。現実にふさわしくない案である。 総合福祉センターを閉鎖することで経費を削減し、東西南北の福祉センターにその機能を移すという案であるが、機能を移した場合の予算立てを示してもらいたい。			
多機能を備えていることに驚き、また大事だと思った。特性に合わせた部屋の使い方など考えられている。 皆で使える施設にしていく議論は何かおかしい、この場所が必要な人の為に必要なのだと改めて思った。 所々古くなっていたり使えないところがあると、メンテナンスやリノベーションなど			

<p>経費のかかることなので、バランスが難しい。</p>
<p>様々な利活用ができるアイデアが出せるのではないかな。 すべてを一般市民に開放ではないが、もう少し活用できる方を広げるあり方を考えても良いのではないかな、無料ではなく有料化してお金を集めるとか。 機能訓練室など、社会や時代が変わって市民にも使いたい状況があるところなどを見直しても面白いかなと思う。</p>
<p>この件についてアンケートがあるのであれば出してほしいし、なければ何らかの形でアンケートをとって利用者、家族の本当の声を聞かせてほしい。 仮に無くなる、修理を行うとして、現在の利用者が利用できない間どうするのか心配である。 市の案がありこの場があると思うが、設計図とまではいかななくても、具体的に市としてどうしていきたいかを示してくれればありがたい。</p>
<p>これだけの施設があることに驚いている。 やはりもっと話し合いが大事だろう。まず利用者の意見をしっかり聞き、他の方の意見も聞いて、このように特別な総合福祉に関係あるような施設の場合は、当事者の声を先に沢山聞き入れてから公表すべきだったのではないかなと感じた。</p>
<p>これだけ立派な施設を新たに作るとなると大変なので、改良した上でさらに活発に利用できるようにしたら素晴らしいと思う。 官ができることの中には、損得抜きにやらなくてはいけないことがたくさんある。ここだと思ふところはやはり市としても、無理してでも無駄なく費用をかけてほしい。 障害という枠を決めなくて、使えるものは皆でつかったら良い。 この施設を明るい雰囲気人が寄る場所にするのは費用をかけなくてもできると思う。</p>
<p>十分リニューアルすれば使える建物だと思う。 障害者だけではなく、ふれあい会館に代わるようなものとしても使えると思う。 解体費用をメンテナンス、リニューアルにかける方がずっと市民のためになる。 福祉避難所という意味でもここは残して、市民のために活用すべきだと思う。</p>
<p>使われてない施設、部屋がたくさんあるのはもったいない、使えるようにしていくために経費を使っていたきたい。 利用する幅を広げていくのは、ここを存続させていこうとするなら、大事な部分だと感じた。</p>
<p>いろんな機能がある中で何を大事にされるのか。 市が本当に必要だと思うもの、今の利用者、今後使いたい利用者、そのあたりのご意見を聞きたい。 リーダーとして課題提起をすることは大事、どちらの方向にするとしても、多くの意見をしっかり聞くことが大事である。</p>
<p>要配慮者の方はやはり一般避難所へ行くのを躊躇われる、こういう福祉避難所が必要である。 避難生活の中で入浴がとても大事だが、大浴場がある、料理室もあり炊き出しができる。避難所としてすごく良い。そのような観点からここをなくすのは本当に理解ができない。</p>

前々回この会議でも言ったがここをなくすのは反対である。

この施設は人に優しく思いやりが詰まった本当に機能的な施設。障害者のケアは専門的な部分が非常に多く必要だと思うが、それがすべてここ1ヶ所でできるのになぜ4つに分散させるのか。

リノベーションしもっと有効活用する、障害者以外にも開放し誰もが使える施設とする、障害者以外は有償とするのは良いと思う。

利用率を増やし、市の負担を軽減しながら存続させることが絶対条件で、改めて絶対に閉鎖されると困る。

ここを閉めてちまちまと節約しながら、4つの老人センターに分散するのは障害者福祉の後退以外の何物でもない。

条例の壁があるそうだが、地域の人也使ってもらえる施設を立体的に検討したらよい。

奈良市社会福祉協議会は利用者や家族の声を見える化をしたらよい。

利用者が減っているのは、障害者が孤立したり、閉じ込められている社会だ。もっと利用しなくなるような中身も含め、社協はノウハウがあるのだから、皆の願いにこたえるようなものにしてほしい。